

アンケート(日本共産党市議団調査)への声に応え提案

くらしを守る**市政**3つの緊急支援を

値上げラッシュ、年金の削減…。日本共産党立川市議団が行なった市民アンケートに「生活が苦しい」など悲鳴が次々寄せられています。日本共産党は、市政で次の3つの緊急支援の実現に全力をあげます。

1 コロナ禍と物価高で困窮する世帯に市独自に**1世帯5万円の給付金**

2 小中学校の**給食費無償化**めざし、まずは**2割補助**

3 国民健康保険料**1人1万円の緊急値下げ**、子ども均等割りゼロに



永元すま子市議からバトンタッチ

日本共産党 **永元きょう子**

ながもと・きょうこ

立川ジェンダー平等対策責任者(市議予定候補)

《プロフィール》立川相互病院で生まれ、若葉町在住●若葉小、九中、都立拝島高校、和光大文学部卒●元くにたちダンスコレクション副実行委員長●トルコのイスタンブール市、アクヒサル市で日本人で初めて「日本文化祭」演出●ダンススタジオ経営・講師15年・振付師●2021年都議選昭島選挙区で市民と野党の共同候補●趣味は温泉めぐり、ドライブ、映画鑑賞、ヨガ《活動地域》若葉町、幸町、柏町、泉町

市民の願い実現してきました**5人の市議団**をひき続き!

市民のみなさんの声と運動、議会論戦で市政を動かしてきました。

値上げストップ 国保料3年連続
ストップ 介護保険料6年連続

自民党、公明党は、立川市を多摩26市で1番高い国保料、2番目に高い介護保険料にしてしまった、多摩地域最悪の値上げ勢力。日本共産党市議団はこれと対決し「値上げストップ、値下げを」と、財源も示してねばりつよくだたかい、国保料値上げを3年連続で、介護保険料値上げを6年連続でストップさせています。

コロナ対策でも

自宅療養の人に医療ケア——医師や看護師が訪問する「医療支援事業」を市の独自施策として実現させました。

収入減の中小企業に家賃補助——簡単な手続きで迅速な支給。商店街の装飾灯電気代補助も実現しました。

自民、公明の市政 寝たきり高齢者の おむつ代補助まで 切り下げ…

寝たきり高齢者のおむつ代補助を月額3千円カットし5千円にするなど、市民のくらしや福祉にかかわる予算をこれでもかと削ってきたのが自民、公明の市政です。

そのため、市のためこみ金は今年3月末で103億5千万円(財政調整基金)、人口あたりの額は多摩の類似市で最大になっています。

ため込んだ税金、市民に還元を

立川民報 2022年5・6月号外
日本共産党立川市委員会は見解を発表しました。
発行/立川民報社 発行人/折井暁
立川市上砂町3-20-1
ご意見をお聞かせください
042-523-2589
(日本共産党立川昭島地区委員会)



プーチンは侵略やめよ! ウクライナに1日も早く平和を!

←立川駅北口で訴える日本共産党市議団ら。

不要不急

立川駅北口デッキ延長 114億円 使うより

総額

危険な通学路の安全対策を

立川市が昨年おこなった通学路の点検で105の危険箇所が(右図=市の報告書から作成)。日本共産党は、市が最優先で対策を急ぐよう求めます。

一方で自民・公明市政が総額114億円も注ぎ込もうとしているのが、必要性のない立川駅北口デッキ(2階建ての歩道部分)の延長です。

105ヶ所

日本共産党

(▲は危険箇所数)

こんな対策で大丈夫?—市の報告書

現状(一部を紹介)	対策
過去にトラックによる児童の巻き込み事故があった(錦町)。右左折車の巻き込み事故の恐れ(曙町、柏町、一番町)	「小学校で注意喚起指導している」
自動車のミラーにぶつかったり、足をひかれたり、事故が多い(羽衣町)。車両と児童の衝突が心配(上砂町、砂川町、若葉町、柏町)。自転車と児童の接触あり(栄町)	「止まれの道路標示を再塗装した」「看板、ミラーを設置した」
ガードレールに途切れあり(柴崎町)	「小学校で注意喚起指導している」
スピード出す車あるが道幅が狭く用水路にフタがなく端に寄るのもギリギリ(富士見町)	「注意喚起を行う」
道路を2回横断する必要があり自転車との接触リスクが増える(高松町)	「小学校で注意喚起指導している」



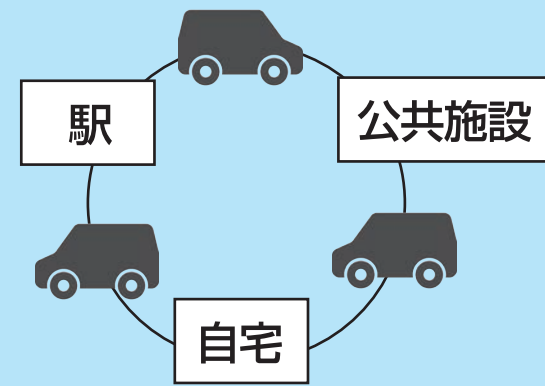
ミニバス、デマンド交通で交通不便の解決へ

他市に学び、立川市でも実現を 日本共産党の提案

日本共産党立川市議団の「市政アンケート」には、交通不便解消を求める市民の声が次々と。町会などの陳情も市議会で採択されています。とりわけ高齢者の足の確保(買い物、通院、公共施設への移動、自動車免許返納などのため)が切実です。日本共産党は以下の提案をしています。

共産党の提案	日野市では
①くるりんバスのルート増 100円に戻す	ミニバスが7路線
②ワゴンタクシー導入	2路線実現
③デマンド交通の導入	導入を検討
④予算7000万円の「壁」をやめ 日野市なみに増やす	ミニバス1.8億円 ワゴンタクシー0.2億円

東久留米市のデマンド交通例



デマンド交通とは、利用者の事前予約に経路やスケジュールを合わせて運行する地域公共交通。東久留米市の「くるぶー」は、登録(無料)した市民が、利用したい日時と乗降場所(自宅も可)を電話で予約するだけ。1人1回500円です。

日本共産党は今年で100年、これからもくらし、平和をブレずに全力



やまぞえ・たく
山添 拓
参議院議員(東京選挙区)

浅川 修一
立川市議会議員

上條 彰一
立川市議会議員

若木さなえ
立川市議会議員

中町さとし
立川市議会議員

永元きょう子
党立川ジェンダー平等対策責任者